様式1　【運営実績評価】

指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 検 証 調 書 ①

平成２２年 7月２９日

施　設　名	香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川） 香川県科学技術研究センター（ＦＲＯＭ香川）	所在地	高松市林町2217-44（ネクスト） 高松市林町2217-16（FROM）

施設所管課	商工労働部 産業政策課	施設所管課 連絡先	糖質バイオ・知的財産グループ 087-832-3352

指定管理者名	財団法人 かがわ産業支援財団	指定期間	平成１８年４月１日～ 平成２３年３月３１日

1　指定管理者が行う業務

委託業務の内容	① 施設の維持管理に関すること ② 施設の利用の許可に関すること ③ 使用料等の徴収に関すること ④ その他施設の管理運営に必要な事項	県からの委託料	H18　90,059,673円 H19　87,468,611円 H20　84,539,674円 H21　82,005,405円

2　施設の利用状況等

（1）香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川）の主な施設の利用者数及び利用料金収入

利用者数（稼働率）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インキュベート工房（全11室中入居室数）	21年度	7	6	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	
EMC総合試験施設（利用企業数）	21年度	16	9	7	16	12	16	13	15	13	18	16	14	165
インキュベート工房（全11室中入居室数）	20年度	9	9	9	9	9	9	10	10	10	10	7	7	
EMC総合試験施設（利用企業数）	20年度	17	10	16	16	8	9	13	12	13	13	15	17	159
インキュベート工房（全11室中入居室数）	19年度	9	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9	9	
EMC総合試験施設（利用企業数）	19年度	12	17	14	15	19	12	18	15	14	13	17	13	179
インキュベート工房（全11室中入居室数）	18年度	9	8	8	8	8	9	10	10	10	10	10	10	
EMC総合試験施設（利用企業数）	18年度	11	17	15	18	12	14	18	16	15	12	16	16	180
インキュベート工房（全11室中入居室数）	導入前	7	7	7	7	7	7	7	9	9	9	9	9	
EMC総合試験施設（利用企業数）	導入前	0	6	8	4	18	13	7	8	18	7	7	30	126

利用料金収入		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用料・手数料	21年度	439,145	3,005,390	2,182,065	6,526,435	4,626,915	4,572,135	8,171,800	2,060,540	6,667,090	3,525,180	4,751,995	7,821,710	54,350,400
使用料・手数料	20年度	0	4,981,020	4,237,790	5,618,085	5,765,010	3,759,720	8,487,470	2,194,680	4,217,105	5,304,965	3,075,650	9,603,145	57,244,640
使用料・手数料	19年度	99,075	4,691,090	5,314,645	3,831,002	4,157,745	5,783,420	3,673,735	10,598,710	3,230,355	5,519,755	4,855,860	8,708,435	60,463,827
使用料・手数料	18年度	1,800	3,076,010	98,750	6,652,135	8,165,770	5,210,720	5,401,875	4,355,580	4,651,465	7,113,280	3,964,275	10,645,605	59,337,265
使用料・手数料	導入前	0	3,315,295	3,884,530	2,018,715	6,682,045	4,457,365	3,119,880	6,423,580	6,448,965	1,655,245	2,971,480	12,327,490	53,304,590

（2）香川県科学技術研究センター（ＦＲＯＭ香川）の利用者数及び利用料金収入

利用者数（稼働率）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研究室（全17室中入居室数）	21年度	16	17	17	16	16	17	17	17	13	13	13	13	
共同機器・実験機器（利用企業数）	21年度	6	4	3	4	4	6	3	2	2	4	5	3	46
研究室（全17室中入居室数）	20年度	14	14	14	14	17	17	16	16	16	16	15	16	
共同機器・実験機器（利用企業数）	20年度	20	24	17	12	8	16	6	7	5	4	12	11	142
研究室（全17室中入居室数）	19年度	15	16	16	16	16	14	14	14	14	14	14	14	
共同機器・実験機器（利用企業数）	19年度	18	15	11	14	11	20	22	21	17	19	21	21	210
研究室（全17室中入居室数）	18年度	15	15	15	16	16	16	16	17	17	17	17	17	
共同機器・実験機器（利用企業数）	18年度	4	3	0	1	7	10	9	9	8	11	12	9	83
研究室（全17室中入居室数）	導入前	15	15	15	15	16	17	17	17	15	15	15	15	
共同機器・実験機器（利用企業数）	導入前	0	3	1	3	2	1	0	0	1	2	4	8	25

利用料金収入		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用料	21年度	312,235	500	304,165	607,720	307,595	305,365	2,110	303,995	1,860	600	300	4,500	2,150,945
使用料	20年度	0	763,110	383,325	386,545	380	382,495	763,690	660	379,615	381,975	342,275	618,580	4,402,650
使用料	19年度	0	405,815	774,230	18,400	767,290	390,285	8,150	763,050	4,130	760,190	1,270	765,470	4,658,280
使用料	18年度	0	764,530	1,200	379,125	759,450	513,985	34,400	772,090	389,115	384,875	16,340	793,190	4,808,300
使用料	導入前	0	2,400	2,400	2,580	2,400	360	0	0	1,200	3,600	1,138,575	765,450	1,918,965

3　利用者からの意見への対応

利用者意見の把握方法	工房入居者及び研究室入居者：訪問、利用者面談、電話等により把握 EMC試験施設利用者：アンケート調査

利用者からの積極的な評価
事業化や企業体力強化の相談ができる。（工房入居者）
試験研究機関の紹介や助成金の獲得についてかがわ産業支援財団の各部所の協力が得られる。
都会に比べて、ＥＭＣ試験機器等の待ち時間が少ない。
ＥＭＣ試験技術員の試験中の親身になった対応については素晴らしいものがあり感謝している。
ＥＭＣ試験の設備が充実している。また、使用料も安い。
研究機器等が低料金で利用できる。
緑が多く環境が良い。
高速道路のインターに近いので交通の便が良い。
工房、研究室は２４時間利用可能で、セキュリティも高い。

利用者からの苦情･要望	対応状況
【ネクスト香川】 ・入居者から、警備システムが作動している夜間時にネクストとＦＲＯＭの連絡通路による通行が出来るようにしてほしいとの要望があった。 ・EMC試験が通常の利用時間内の時間帯に終わらない場合があるので、利用時間を超えた延長にも対応してほしいとの要望がある。	【ネクスト香川】 ・警備システムの変更と簡易な修繕により、連絡通路の利用ができるようにした。 ・やむを得ない場合には職員が超過勤務をし、可能な限り利用者の要望を聞いて利便性を高めるようにしている。
【FROM香川】 ・研究室入居者等から研究資金獲得のための手段、方法等について、情報がほしいとの要望がある。 ・共同機器や実験機器には取扱説明書がついているが、初めて利用する場合等には説明がほしいとの要望がある。	【FROM香川】 ・国、県、関係団体の助成金等の情報を随時研究者に提供している。 ・毎年１回、機器利用講習会を開催しているが、それとは別に個別の要望があればその都度対応するようにしている。

4　管理運営状況の評価

項　　目	細項目	指定管理者による自己評価	施設所管課の評価		人事･行革課の評価
施設管理	施設及び設備の適切な管理の履行	施設・設備等の適正かつ効果的・効率的な管理運営により、利用者に対するサービスの向上及び管理経費の節減を図っている。	日常的に目視等による施設・設備の点検が行われている。なお、指定管理者では対応できない専門的な業務ついては、業者に委託し適切に管理されている。 また、修繕についても計画的に実施されている。	A	A
	安全性の確保	施設の秩序維持及び安全と衛生の確保に万全を期すほか、維持管理に関する専門的事項については業者委託を行っている。	施設設備の管理運営をする中で、常に事故防止に留意している。なお、これまで事故等は発生していない。		
	法令等の遵守	条例、規則、管理規程等を遵守するほか、協定書や仕様書に従って、適正に管理を行っている。	実地検査等を行った結果、県の条例や規則等を遵守した管理運営がされていることを確認した。また、労働関係法令についても遵守されていることを確認した。		

法令等の遵守等	職員配置	ネクスト香川のEMC試験については３名の専任者を配置し、適切な管理を行っている。 ネクスト香川、ＦＲＯＭ香川両施設の管理のために主担当１名・副担当１名の計２名を配置している。さらに業務内容によっては数名の補助者を使用して適切な管理を行っている。	ネクスト香川のＥＭＣ試験には、経験豊富な技術者３名を配置し、施設利用者に対して十分なサービスが提供されている。 また、ネクスト香川の工房・ＦＲＯＭ香川の研究室の入居者支援や施設の管理についても十分な人員体制が整備され、適切な管理運営が行われている。	A	A
	緊急時の体制	緊急連絡網を整備し、夜間や休日等にも対応できる体制を整えている。	緊急時における指定管理者内及び施設利用者との連絡体制の整備が行われている。		
	県の指示事項への対応	組織体制及び事務分掌を明確にし、遺漏なく迅速に対応している。	月１回開催している県との連絡会や随時の県からの指示等に迅速かつ適切な対応がされている。（渇水時や新型インフルエンザへの対応等）		
サービス水準の維持･向上	利用者数、施設稼働率	ネクスト香川の工房の入居率は55%程度に低下したが、EMC総合試験設備の稼働率は95%超を維持している。 ＦＲＯＭ香川の研究室の入居率は概ね90%程度を維持している。共同機器室及びバイオ関連共同実験室の最近の稼働率(日数)は研究機器の自己保有等により減少傾向にある。	平成20年度末から厳しい経済情勢が続いており、ネクスト香川もその影響を受け、工房入居率は低い水準で推移している。県と指定管理者が協力して施設のＰＲ、募集を実施しているが、未だ十分な成果は現れていない。 ＦＲＯＭ香川研究室の入居率は平成21年12月以降数ヶ月間は80%を下回ったが、平成22年5月以降は90%を超える高い水準となっている。 ＥＭＣ試験施設は経済不況下であっても、毎年度95%を超える稼働率を維持できている。	A	A
	利用促進に向けた取り組み	ホームページやパンフレットを作成して情報公開や利用案内等を行い、適宜、大学や企業への訪問、施設公開を実施している。	ホームページ等により、適時にネクスト香川工房やＦＲＯＭ香川研究室のＰＲや募集、ＥＭＣ試験施設のＰＲが行われている。また、大学や企業への訪問等による利用促進のための取組みがされている。 ＥＭＣ試験施設では、常に最新の国際規格に適合した試験を提供するため、設備整備を行うと共に、技術者も講習会等を受講し最新の技術を習得するなど、利用促進のための取組みがされている。		
	各種事業･プログラムの内容	工房入居者及び研究室入居者のニーズに応じた情報提供や相談会を行っている。 EMC試験関係の県内企業に対する講習会 及び 共同機器等利用者への講習会を行っている。また、常に試験の国際規格の変更に留意し、適時に機器の更新が出来るよう県に申入れ等をしている。	工房入居者や研究室入居者に対して、指定管理者の施設部門・事業部門の双方から各種情報の提供を行うなど事業化の支援がなされている。 ＥＭＣ試験機器、共同利用機器等の講習会も適切に実施されている。また、指定管理者から適切な機器の更新計画の提案があり、スムーズな機器更新が出来た。		
	利用者満足度	工房関係では経営環境(研究機関や支援機関の近く)の良さ、EMC試験関係では高品質の試験施設と交通環境の良さ等に満足しているようだ。 研究室利用者は県内の産学官共同研究の拠点での研究環境に満足し、共同機器等利用者については使用料金の安価さに満足しているようだ。	工房入居者及び研究室入居者から、施設管理の良さや、指定管理者による事業化支援に対して高い評価を受けている。 また、ＥＭＣ試験施設も多くの企業に利用され、試験環境及び経験豊富な技術者による支援に対して高い評価を受けている。		
	苦情等への対応	面談等による直接の話し合いにより対応することにしているが、余り苦情等はでてきていない。	苦情というよりは要望があるようだが、その都度適切な対応がなされている。		

《評価指標》 Ｓ：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている。
Ａ：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を実施している。
Ｂ：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある。
Ｃ：従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている。

	施設所管課の評価		人事･行革課の評価
総合評価	指定管理者は、施設の管理運営はもとより、施設利用者に対して各種支援を総合的また公正に実施している。また、利用促進や経費節減に努めており、指定管理者として適確である。	A	A

《評価指標》 Ｓ：適正であり、優れた実績をあげている。
Ａ：適正である。
Ｂ：概ね適正であるが、一部改善を期待する。
Ｃ：改善が必要である。